

「電気電子産業を取り巻く製造業における工業高校と産業界の人材育成連携事業」  
鳥取県

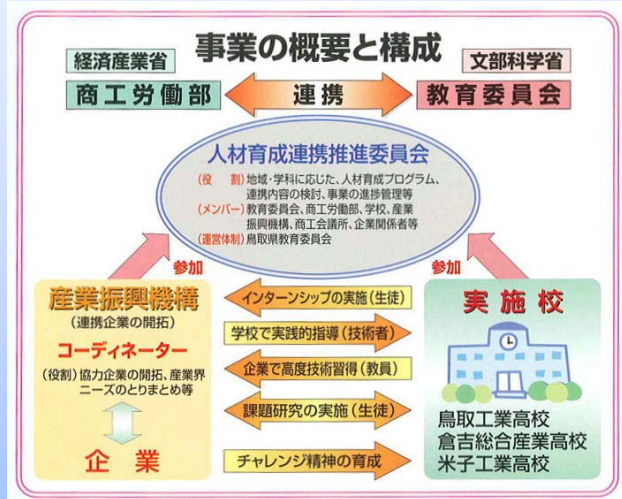
事業実施機関 鳥取県教育委員会 財団法人鳥取県産業振興機構  
 連携省庁 経済産業省 中小企業庁  
 取組校 鳥取県立鳥取工業高等学校 鳥取県立倉吉総合産業高等学校 鳥取県立米子工業高等学校

《事業目標》

企業の生産活動に必要な基本的知識・技術を持ち、どんな分野にも積極的に応用できるチャレンジ精神に富んだ人材の育成を行う。

《事業の概要》

鳥取県内には、主要産業である電気電子産業を中核とした基盤的技術産業が集積しており、それらの分野の人材を育成するために、鳥取県、鳥取県教育委員会、(財)鳥取県産業振興機構の三者が中心となり、県内各商工会議所、鳥取県中小企業団体中央会、大学等の高等教育機関のサポートを得て、工業高校と産業界が連携しあいながら、「インターンシップ」「学校での実践的指導」「教員の企業研修」「共同研究」「チャレンジ精神の育成」の5本柱のもと、企業が求める“ものづくり産業人材”の育成に取り組んだ。



《生徒の企業実習》

内容①現場入門インターンシップ

- ・社会人としての基礎体験を目的とした短期間(～5日間)のインターンシップ。
- ・取組校3校8学科全てで2年生を対象に実施(一部3年生の学科あり)。
- ・専門分野の企業で3～5日間のインターンシップを行った。平成21年度参加生徒329名。

②現場実践インターンシップ

- ・長期間(10日間程度)もしくはデュアルシステムによる、企業現場の専門性に特化した実践型インターンシップ。
- ・長期間については、県立倉吉総合産業高等学校の2年生3名が休業期間を活用して実施。
- ・デュアルシステムについては、県立鳥取工業高等学校の3年生17名が、6社の企業で課題研究の時間(6日から13日)を活用して実施。

成果①期間的には短いですが、社会生活に触れたことにより、社会人として必要な知識等を学ぶきっかけとなった。特にコミュニケーションの重要性について意識した生徒が多くみられた。

- ②長期間のインターンシップにおいて、参加生徒は実習期間中に学んだ“気づき”を学校生活の中で活かし、授業態度や積極性に著しい変化がみられた。



### 《企業技術者等による学校での実践的指導》

内容:企業現場における実践的な技術・技能の習得を目指し、学校内で企業技術者やOB人材などから直接指導を受けた。

3校8学科において30講座を実施。受講生徒は延べ844名。講師企業数延べ46社。

- ①21年度に新しく取り組んだ内容として、県立鳥取工業高等学校機械科1年生を対象にアーク溶接の指導を行った。
- ②県立倉吉総合産業高等学校2年生2学科73名を対象に、インターンシップ前の事前学習の一環として、企業技術者から安全教育の指導を受けた。
- ③県立米子工業高等学校では、鳥取県が取り組んでいる液晶関連実習として2科55名の生徒が指導を受けた。

成果①今まで学校の実習では扱っていない溶接方法、溶接条件の設定方法等について指導を受け、今後の授業の参考となった。また、企業における溶接作業の重要性も実習を通して学ぶことが出来た。

- ②危険予知トレーニングを通して労働災害の実態等を学び、インターンシップに向けた危険への意識が高まった。また、学校内の危険箇所が無いが見直すきっかけとなった。
- ③身近な液晶ディスプレイについて構造等の仕組みを学ぶと共に、県内に最先端の技術をもった企業があることを学び、進路学習の一環にもなった。



### 《教員の高度技術習得研修》

内容:教員を対象として、高度な技術・技能を企業で習得し、学校教育現場において生徒への実践的な指導に反映させる。平成21年度は、26名の教員が企業に出向き指導を受けた

- ①県立鳥取工業高等学校では3科10名の教員が研修を実施。
- ②県立倉吉総合産業高等学校では2科6名の教員が研修を実施。
- ③県立米子工業高等学校では2科4名の教員が研修を実施。

成果①技能検定の指導方法について研修を実施。

技能検定の作業について、頭で理解出来ていることでも実際に作業をしてみると教科書通りにいかない点や、企業講師の方の効率的な作業方法など、新しい発見が数多くあった。

- ②日ごろからの加工方法の疑問などについて指導を受け、疑問を解消した。学校での技術指導が企業現場でどのように役立っているか、卒業生の様子等を通して知ることが出来た。
- ③生徒のインターンシップと合わせて研修を実施。教科書には載っていない現場の実態を学び、授業での指導に反映させることができた。



### 《共同研究等》

内容①共同研究

2校4学科において実施。ア)プラスチック製品用射出成型金型製作 イ)二足歩行ロボット製作 ウ)板金加工技術 エ)新エネルギー導入促進の利用 の4テーマについて企業の指導を受けた。

②チャレンジ精神の育成

県立鳥取工業高等学校1年生114名に対して、トレーディングゲームを活用した起業家教育を実施。

県立米子工業高等学校情報電子科2年34名に、企業の方を講師として招き、起業の経緯等の話を聞く。

成果 実践的な加工技術等を学ぶ機会となり生徒のモチベーションが高まると共に、ものづくりの緻密さや各過程の意義などを理解する機会となった。また、企業の方と一緒に実習をすることから現場の雰囲気等を学ぶことができた。

### 《連絡先》

鳥取県教育委員会事務局(高等学校課)

〒680-8570 鳥取県鳥取市東町1丁目271番地

電話:0857-26-7916 FAX:0857-26-0408 URL: <http://www.pref.tottori.lg.jp/kyouiku/>

財団法人鳥取県産業振興機構

〒689-1112 鳥取県鳥取市若葉台南七丁目5番1号

電話:0857-52-3011(代表) FAX:0857-52-6673 URL: <http://www.toriton.or.jp>